



講師 遠藤 秀文 氏

(株)ふたば代表取締役社長
(株)ふたばラレス(とみおかワイナリー)代表理事
技術士(建設部門)
APECエンジニア・IPEA国際エンジニア
早稲田大学招聘研究員

東日本大震災と原発事故による全町避難を経験した福島県富岡町。その復興まちづくりを最前線で担ってきた実践者。

とみおかワイナリーの取り組みなどをはじめ、新たな地域づくりや世界への貢献などにも挑戦。

講演・討論会 第12回

フクシマの未来を考える

～大学生のうちに知っておくべきこと～

開催趣旨

福島県浜通り地域等で起きていることは、人口減少、少子高齢化、地域再生など、日本社会がこれから直面する課題でもあります。本講演・討論会では、原発被災地域における復興まちづくりの最前線から、持続可能な地域社会の未来について考えます。

本学では福島県浜通り地域等をフィールドとして、地域課題の解決に取り組む人材育成を進めており、本年度申請中の「復興知」事業においても、地域での就業体験や地域共創人材の育成を計画しています。今回の基調講演では就業体験受入れにもご協力いただく株式会社ふたば代表取締役社長 遠藤秀文氏に復興まちづくりの挑戦について熱く語っていただきます。

プログラム概要

【開会挨拶】「復興知」事業責任者 経済学部国際環境経済学科教授 米山 昌幸

【基調講演】**「原発被災地域における課題と挑戦」**
～これまでの歩みと100年先を見据えた地域づくり～ 遠藤 秀文

【パネルディスカッション】「復興のその先へ。地域の未来を創る挑戦から学ぶ。」
(株)ふたば 地域技術統括事業部空間情報チーム 技師 吉野 元禪 (交流文化学科2023年卒) ほか

【閉会挨拶】環境共生研究所所長 秋本 弘章 (敬称略)

2026年 6月 23日(火) 15:30～17:10 (4時限目)

場所 天野貞祐記念館大講堂

事前申込不要・となたでも参加できます

主催 経済学部国際環境経済学科・環境共生研究所

運営 「フクシマの未来を考える」運営スタッフ